

第5章

高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果
(在宅介護実態調査結果)

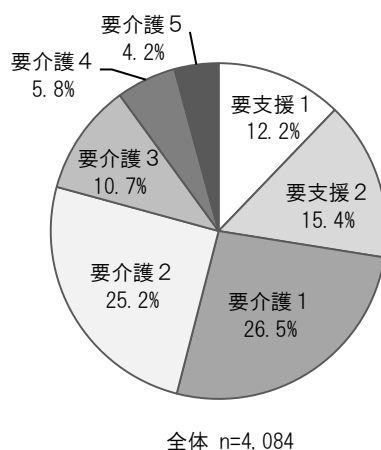
第5章 高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果 （在宅介護実態調査結果）

1 ご本人（要介護者）の状況について

（1）要介護者の介護度

○回答のあった要介護者の介護度をみると、「要介護1」（26.5%）が最も高く、次いで「要介護2」（25.2%）、「要支援2」（15.4%）、「要支援1」（12.2%）となっています。

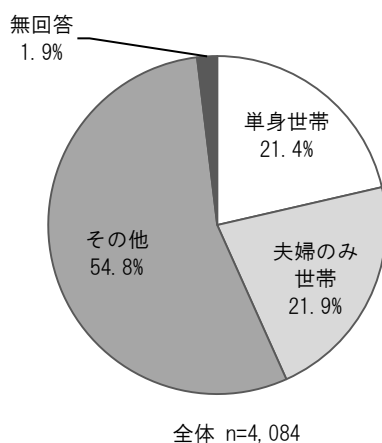
図 5.1 要介護者の介護度別構成比



（2）要介護者の世帯状況

○世帯類型をみると、「単身世帯」は21.4%、「夫婦のみ世帯」は21.9%となっており、「その他」の世帯が54.8%と最も高くなっています。

図 5.2 世帯類型<問1>



(3) 家族・親族から介護してもらう頻度

○家族・親族による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(46.3%)が最も高く、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」と合わせると72.8%の方が家族・親族による介護を受けている状況です。

○また、介護度別にみると、要介護1～5では「ほぼ毎日ある」(48.5～65.1%)、要支援1・2では「ない」(40.0%・32.1%)が最も高くなっています。

図 5.3 家族・親族から介護してもらう頻度<問2>

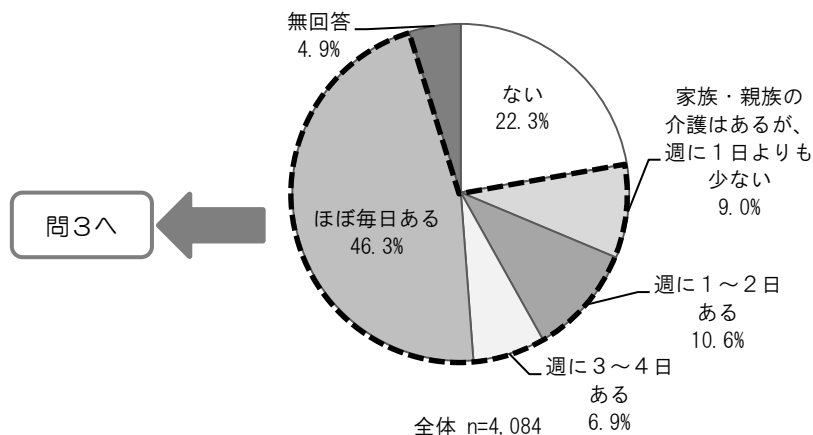
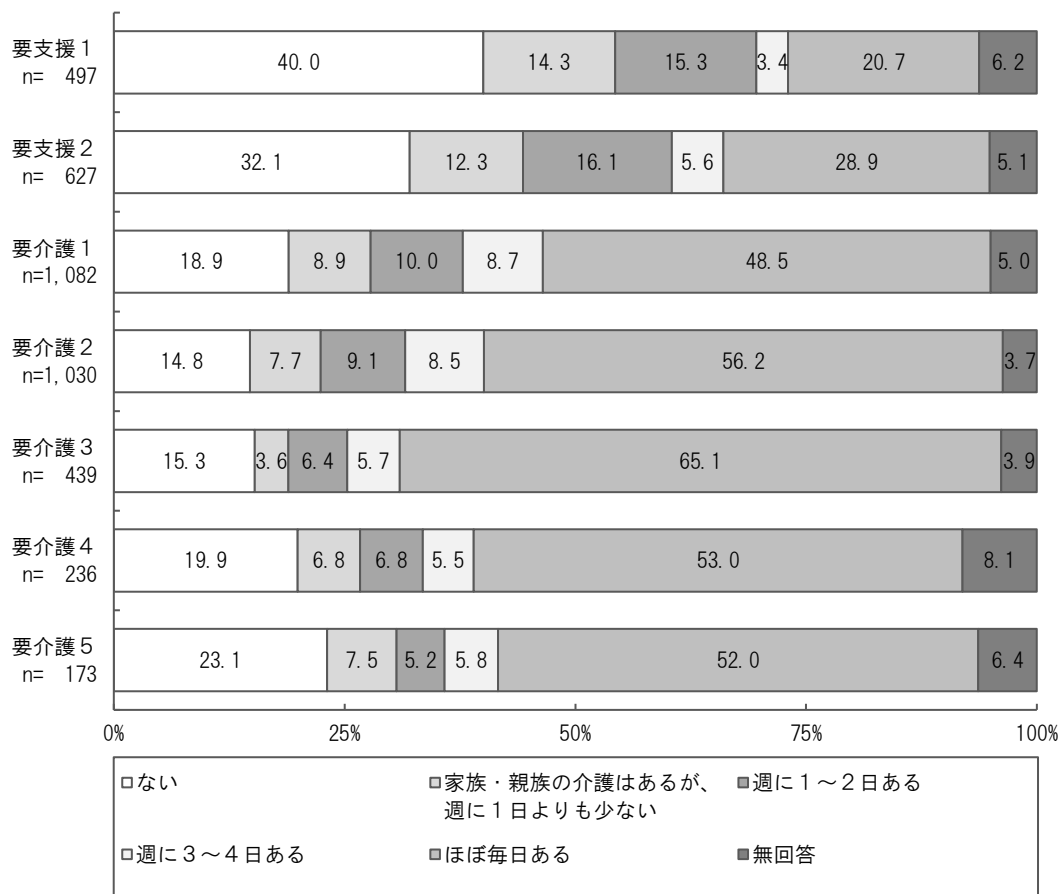
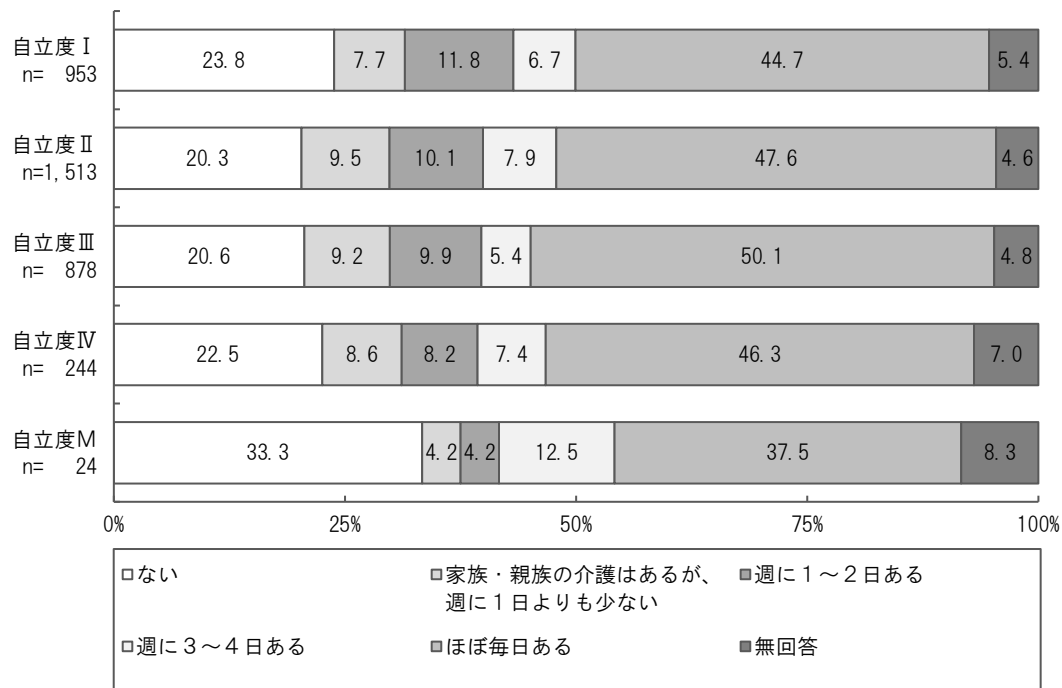


図 5.4 「介護度」 × 「家族・親族から介護してもらう頻度<問2>」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、自立度Ⅰ～Ⅳで「ほぼ毎日ある」(44.7～50.1%)が最も高く、次いで「ない」(20.3～23.8%)となっています。

図 5.5 「認知症高齢者日常生活自立度」 × 「家族・親族から介護してもらう頻度<問 2>」



2 主な介護者等の状況（属性等）について

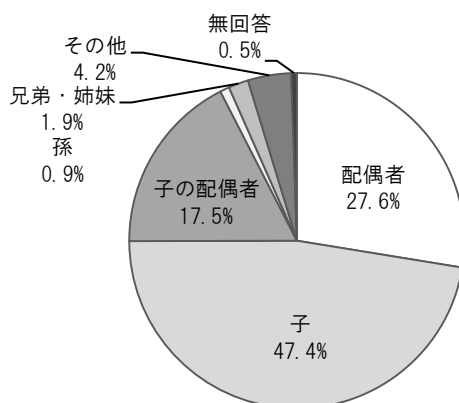
（1）主な介護者の状況

○要介護者からみた主な介護者は、「子」(47.4%)が最も高く、次いで「配偶者」(27.6%)、「子の配偶者」(17.5%)となっています。

○主な介護者の性別は、「女性」(66.7%)、「男性」(32.4%)となっています。

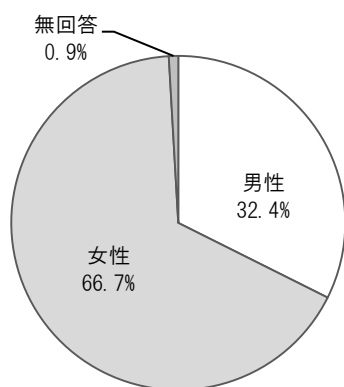
○主な介護者の年齢は、「60～69歳」(34.6%)が最も高く、次いで「50～59歳」(21.3%)、「80歳以上」(18.8%)、「70～79歳」(18.1%)となっています。

図 5.6 要介護者からみた主な介護者<問3>



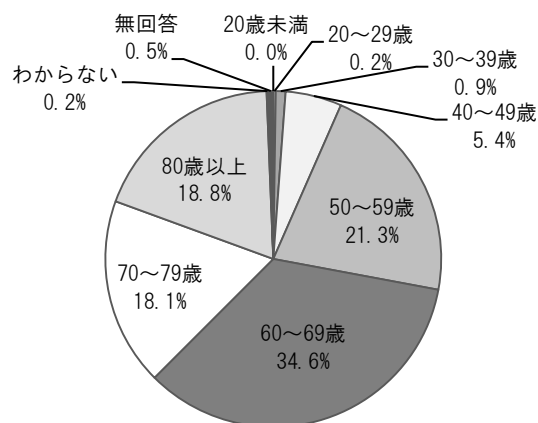
全体 n=2,971

図 5.7 主な介護者の性別<問4>



全体 n=2,971

図 5.8 主な介護者の年齢<問5>



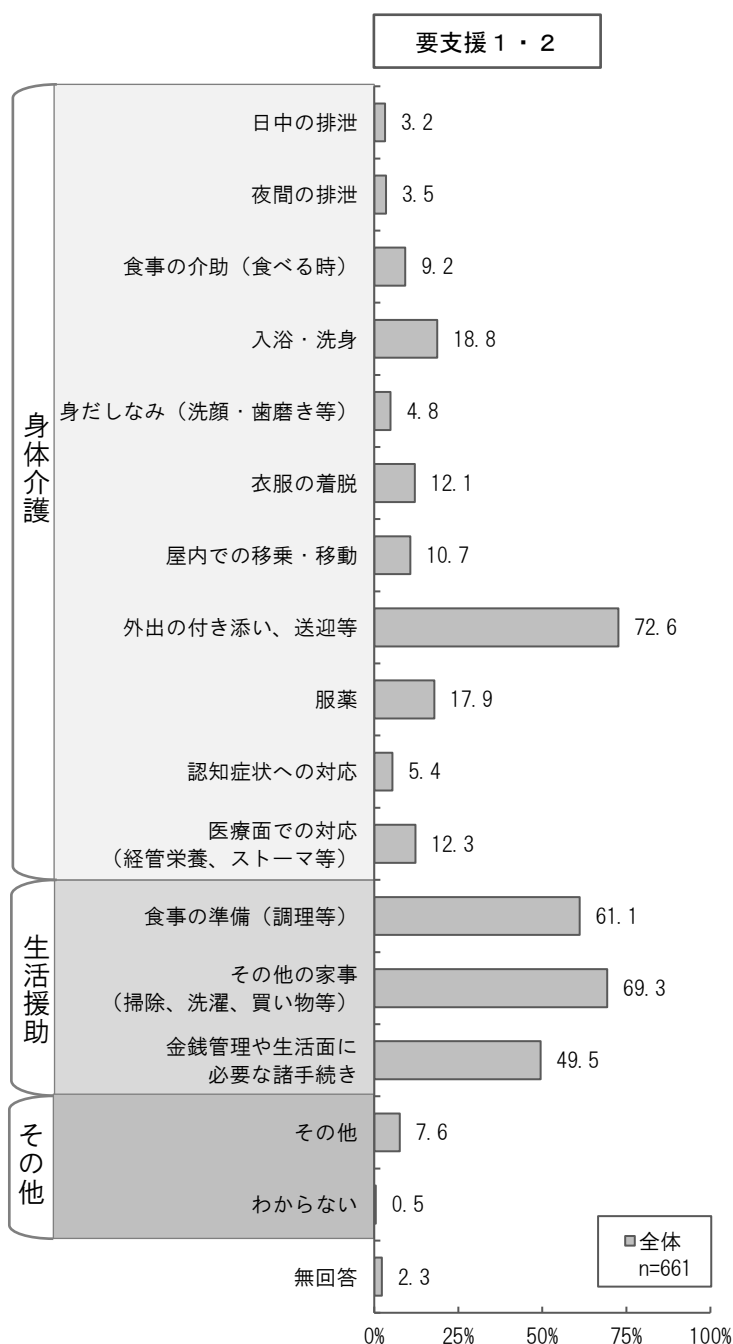
全体 n=2,971

（2）主な介護者の介護実態

○要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」（72.6%）が最も高く、次いで「入浴・洗身」（18.8%）、「服薬」（17.9%）となっています。

○生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が69.3%、「食事の準備（調理等）」が61.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が49.5%となっています。

図 5.9 主な介護者が行っている介護等<問 6>

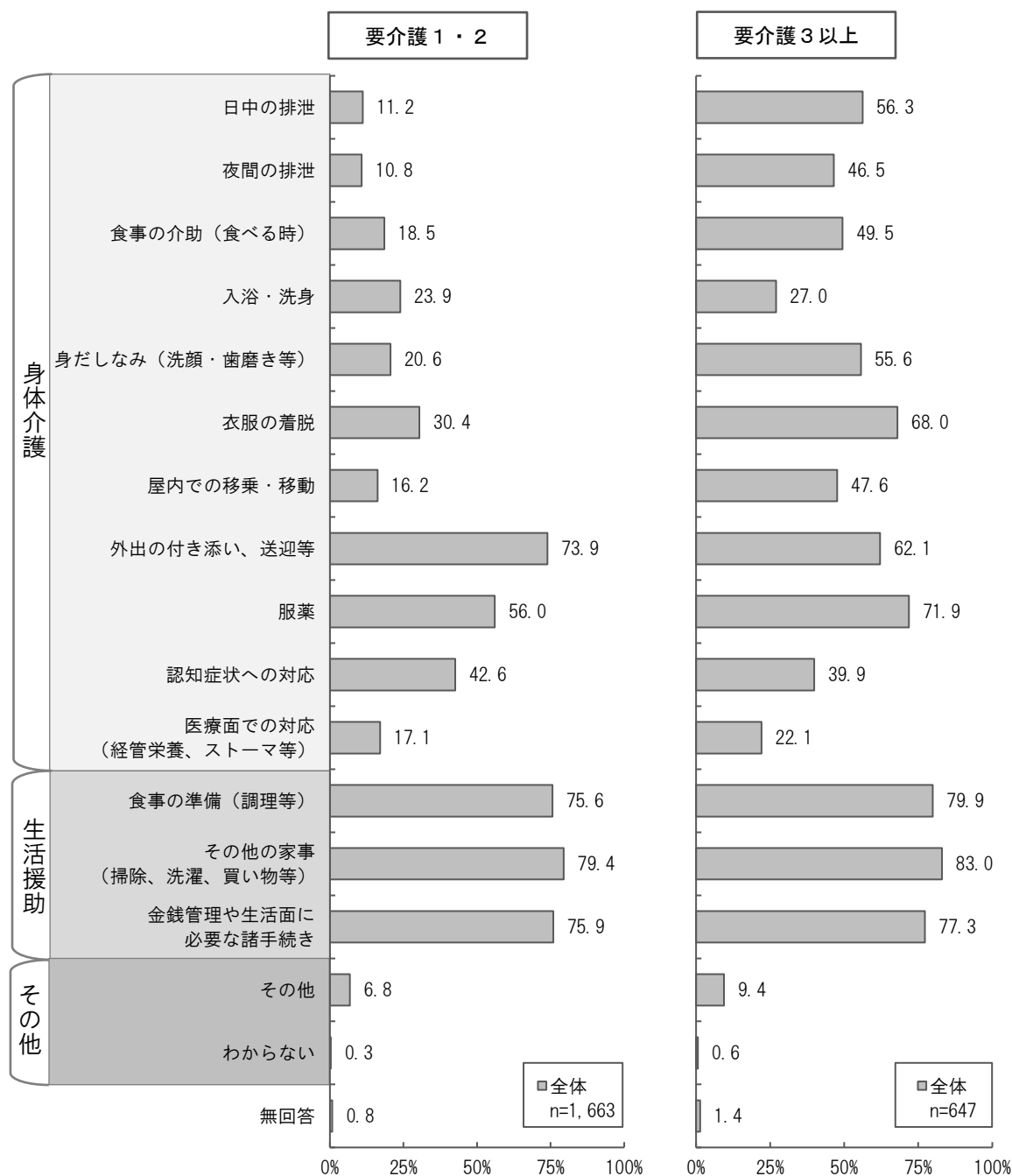


○要介護1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(73.9%)、「服薬」(56.0%)が高くなっています。

○生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.9%、「食事の準備（調理等）」が75.6%となっています。

○要介護3以上の方の身体介護をみると、「服薬」(71.9%)、「衣服の着脱」(68.0%)、「外出の付き添い、送迎等」(62.1%)で割合が高くなっています。

○生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.0%、「食事の準備（調理等）」が79.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.3%となっています。



（3）家族・親族が介護のために離職した状況

○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（7.3%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（1.7%）が離職し、2.6%の方が転職しています。

○世帯類型では、介護離職者と継続就労者とも「その他」の世帯（69.1%・65.6%）が最も高く、次いで「単身世帯」（19.6%・25.6%）、「夫婦のみ世帯」（9.8%・8.1%）となっています。

図 5.10 家族・親族の介護による退職・転職状況<問7>

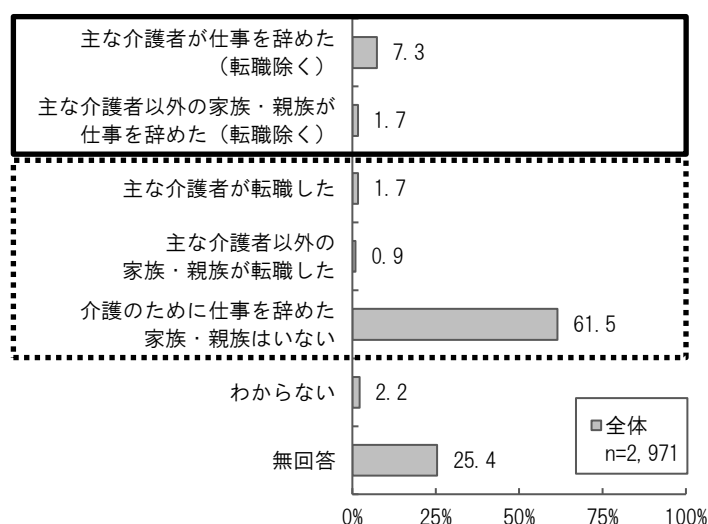
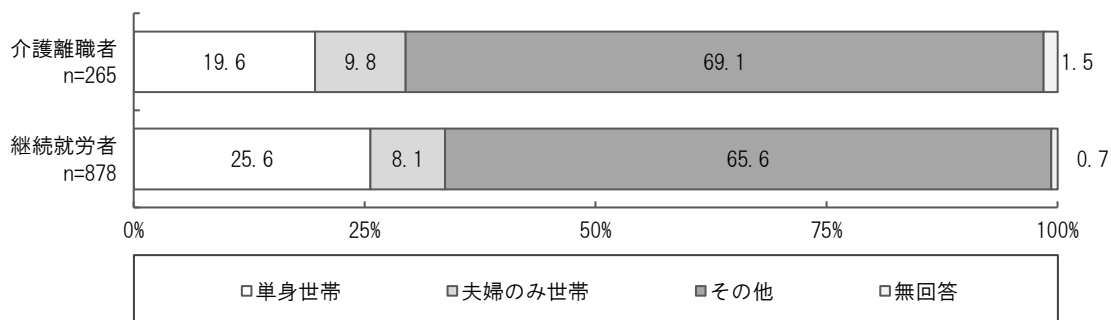


図 5.11 「介護離職者・継続就労者別」 × 「世帯類型<問1>」

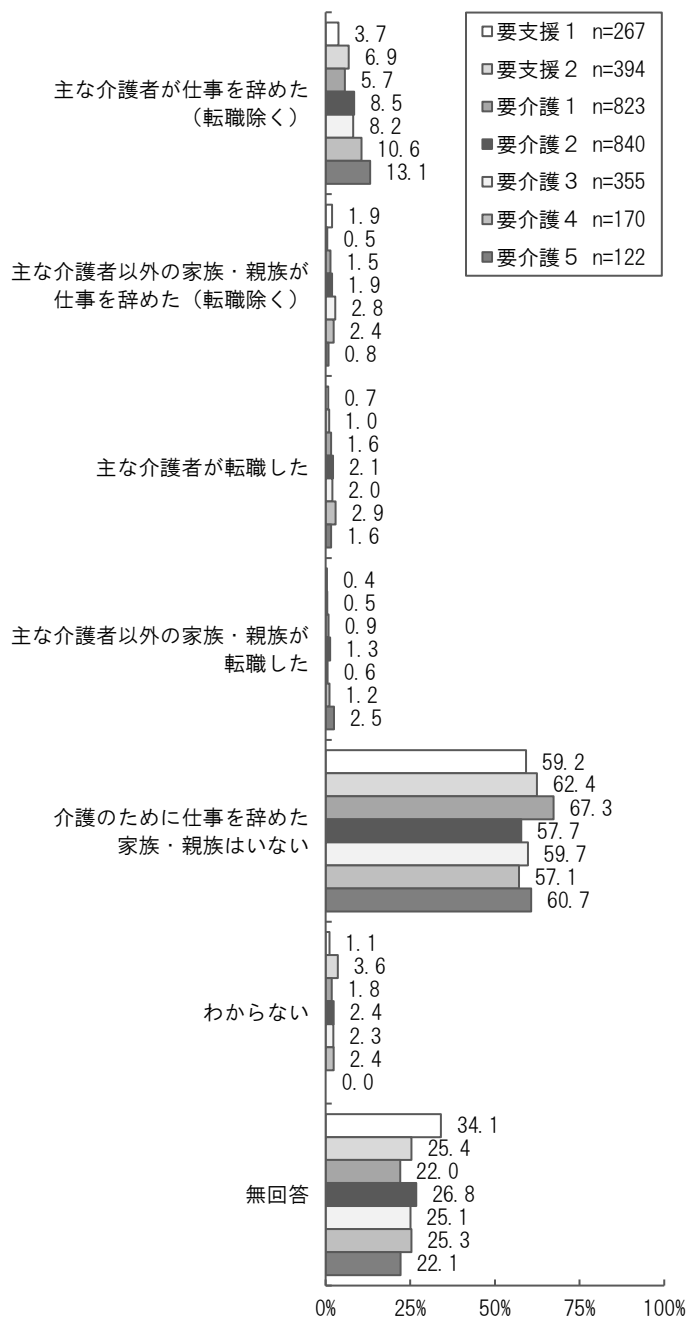


※介護離職者：問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問20で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

○介護度別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、全ての要支援、要介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(57.1~67.3%)が最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(3.7~13.1%)となっています。

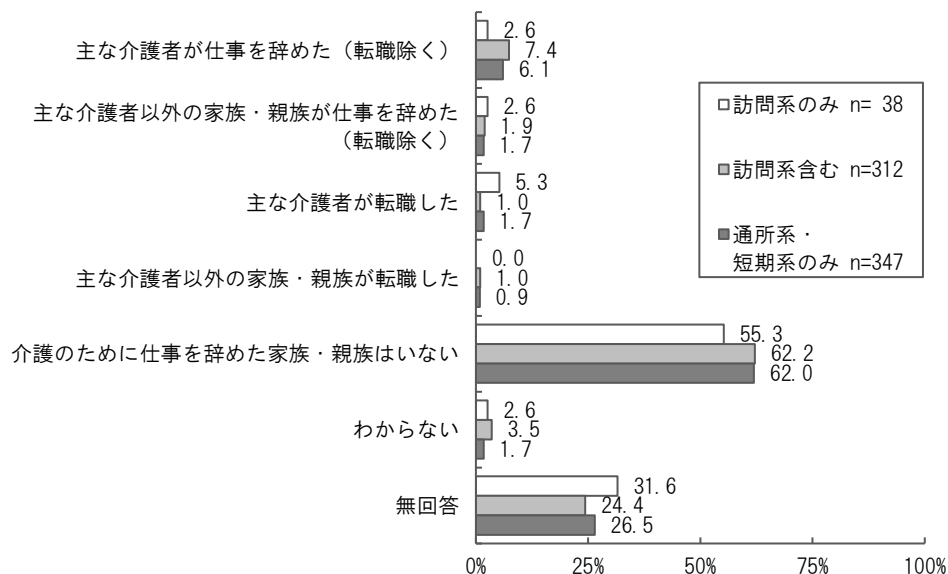
図 5.12 「介護度」 × 「家族・親族の介護による退職・転職状況<問7>」



○サービス利用状況別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」方は、訪問系を含むサービス利用状況が7.4%、訪問系だけのサービス利用状況が2.6%、通所系・短期系だけのサービス利用状況が6.1%となっています。

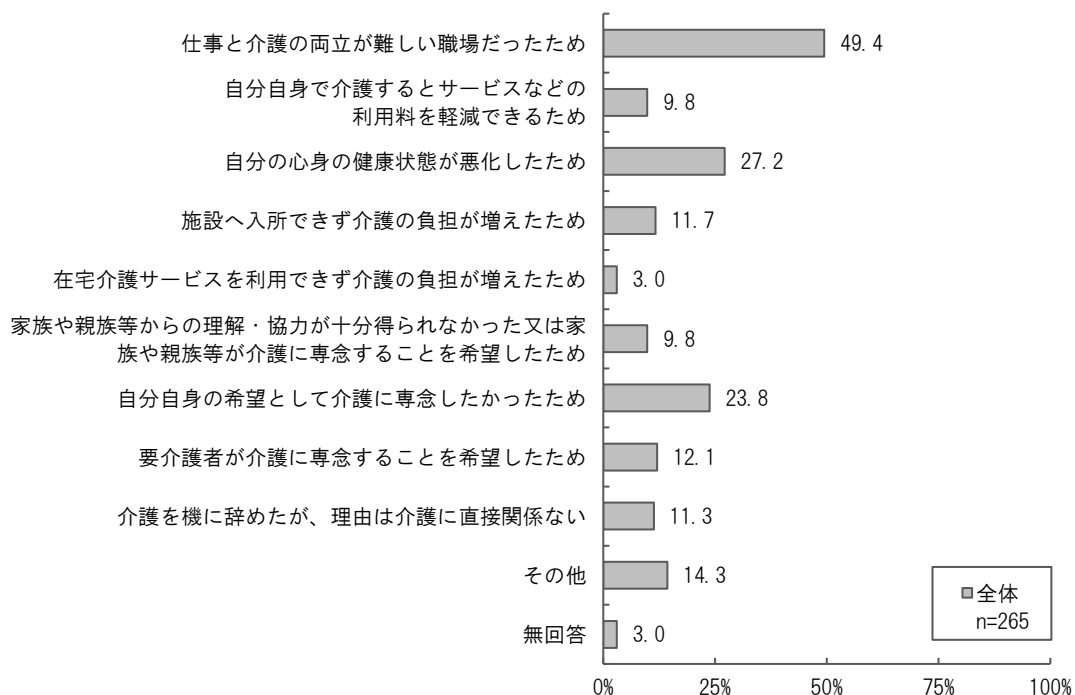
○「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」方は、訪問系を含むサービス利用状況が62.2%、通所系・短期系だけのサービス利用状況が62.0%、訪問系だけのサービス利用状況が55.3%となっています。

図 5.13 「サービス利用状況」×「家族・親族の介護による退職・転職状況<問7>」



○家族が仕事を辞めた理由としては、「仕事と介護の両立が難しい職場だったため」(49.4%)が最も高く、次いで「自分自身の健康状態が悪化したため」(27.2%)、「自分自身の希望として介護に専念しなかったため」(23.8%)となっています。

図 5.14 家族が仕事を辞めた理由 <問7-1>



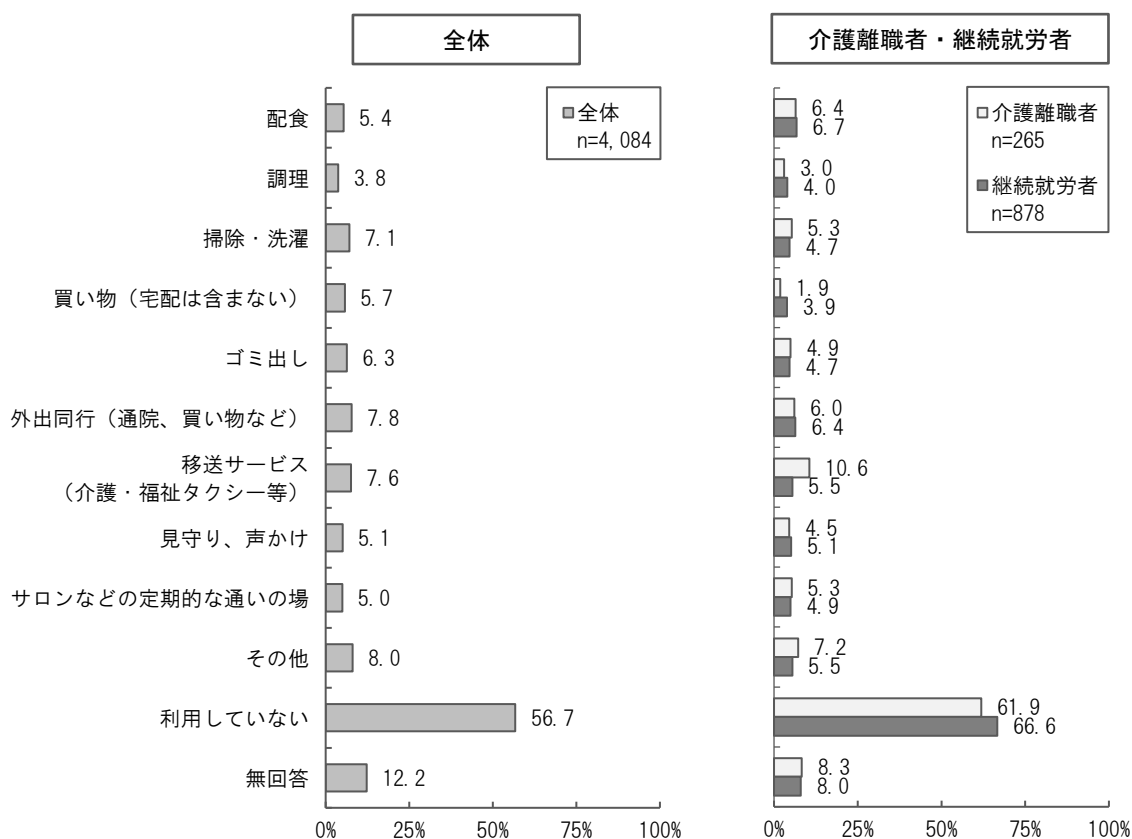
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」(56.7%)が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(7.8%)となっています。

○介護離職者・継続就労者ともに「利用していない」(61.9%・66.6%)が最も高くなっています。次いで、介護離職者では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(10.6%)、「配食」(6.4%)、継続就労者では「配食」(6.7%)、「外出同行(通院、買い物など)」(6.4%)となっています。

図 5.15 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況<問 8>



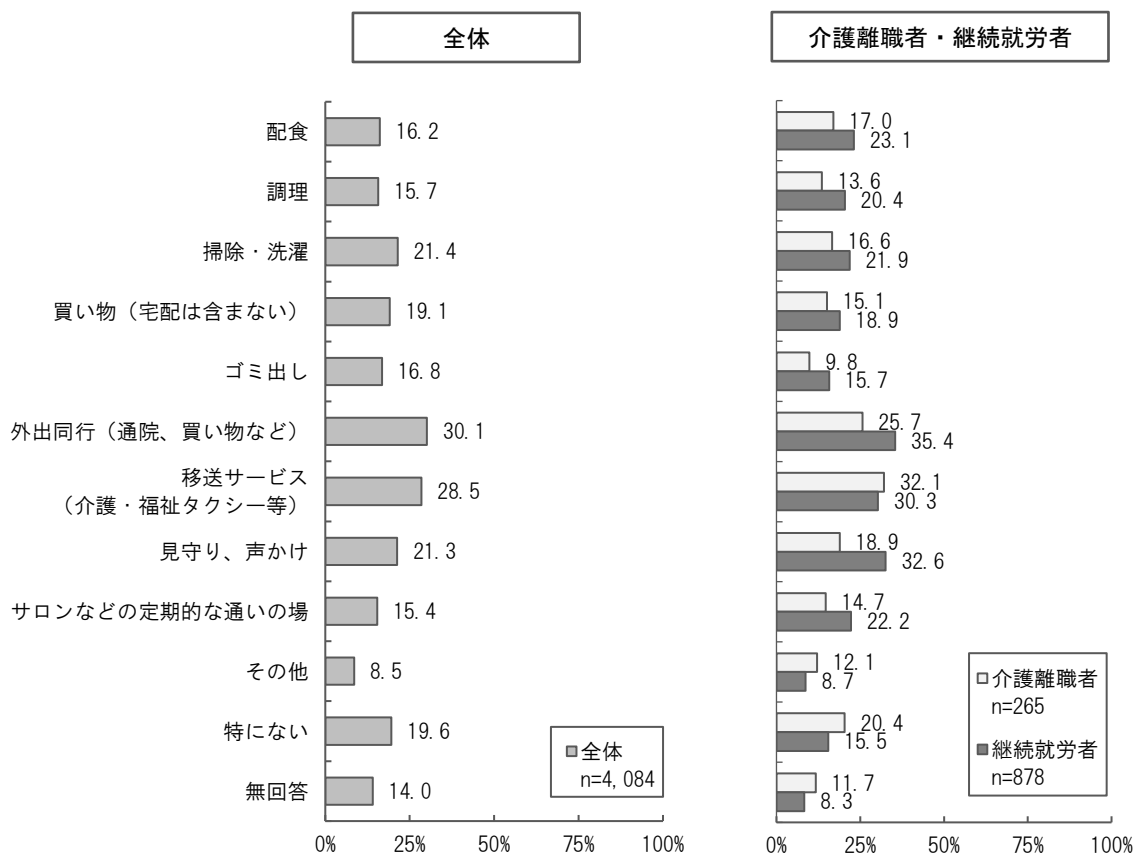
※介護離職者：問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問20で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の計です。

○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスをみると、全体では「外出同行（通院、買い物など）」（30.1%）が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（28.5%）、「掃除・洗濯」（21.4%）、「見守り、声かけ」（21.3%）となっています。

○介護離職者では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（32.1%）が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（25.7%）となり、継続就労者では「外出同行（通院、買い物など）」（35.4%）が最も高く、次いで「見守り、声かけ」（32.6%）となっています。

図 5.16 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス<問9>



※介護離職者：問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し問20で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

○在宅生活を続けていくにはどの介護サービスが必要だと思うかでは、全体では「デイサービスなどの通所系のサービス」(31.5%)が最も高く、次いで「ショートステイなどの短期系サービス」(23.6%)、「ヘルパーなどの訪問系のサービス」(22.0%)となっています。

○介護度別にみると、「要支援1」～「要介護3」では「デイサービスなどの通所系のサービス」(30.6%～35.9%)が最も高く、「要介護4」「要介護5」では「ショートステイなどの短期系サービス」(28.0%・31.8%)が最も高くなっています。

図 5.17 どの介護サービスが必要だと思うか<問 9-1>

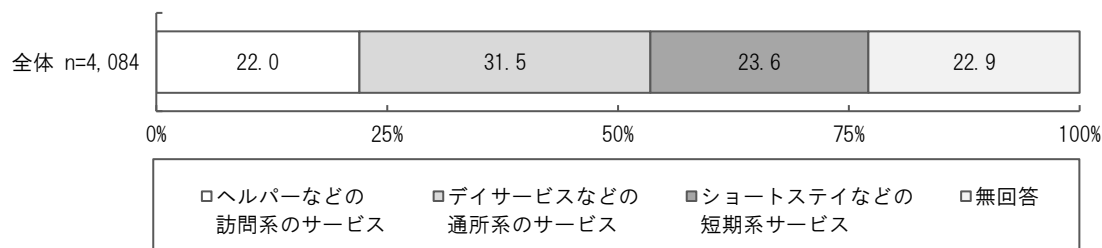
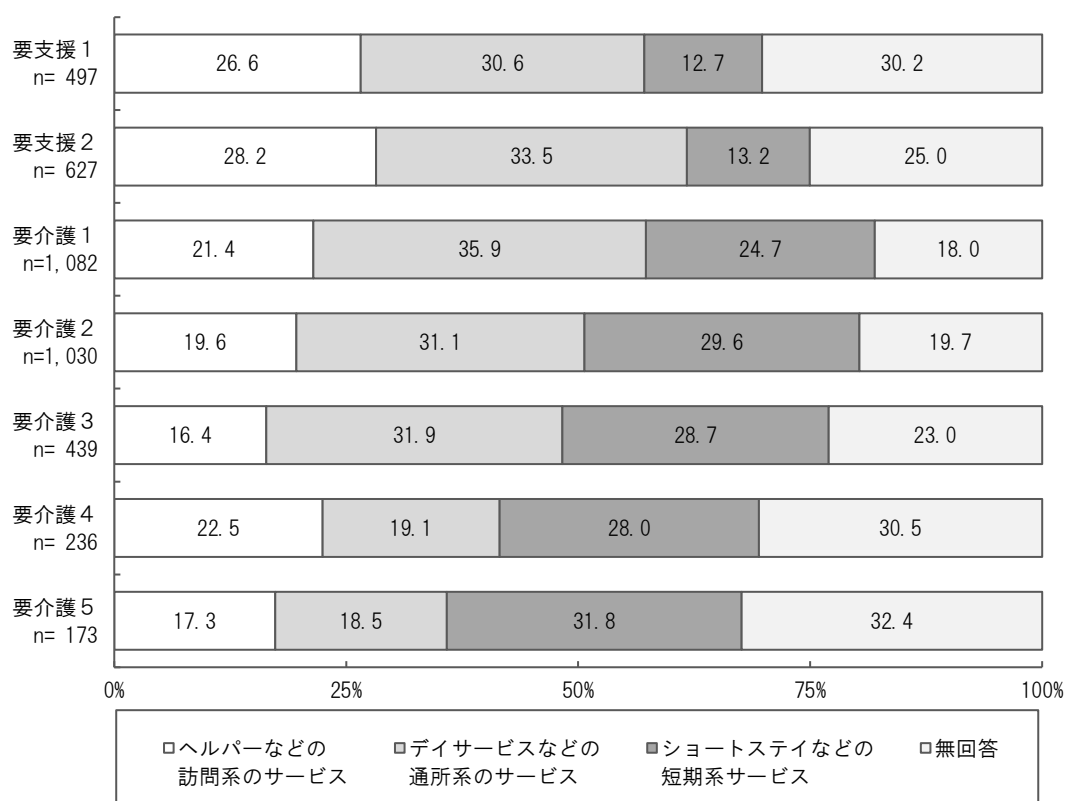


図 5.18 「要介護度」 × 「どの介護サービスが必要だと思いますか<問 9-1>」



○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた30.6%が、入所・入居予定または検討中となっています。

○介護度別の検討状況では、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、要支援1では13.9%、要支援2では18.9%、要介護1では28.1%、要介護2では35.6%、要介護3では45.8%、要介護4では47.0%、要介護5では44.5%となっています。

図 5.19 施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>

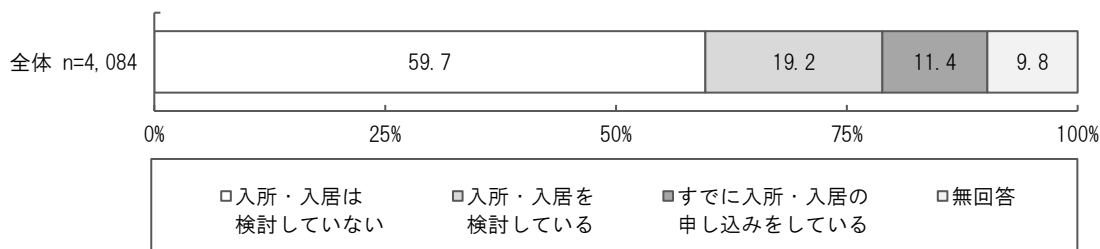
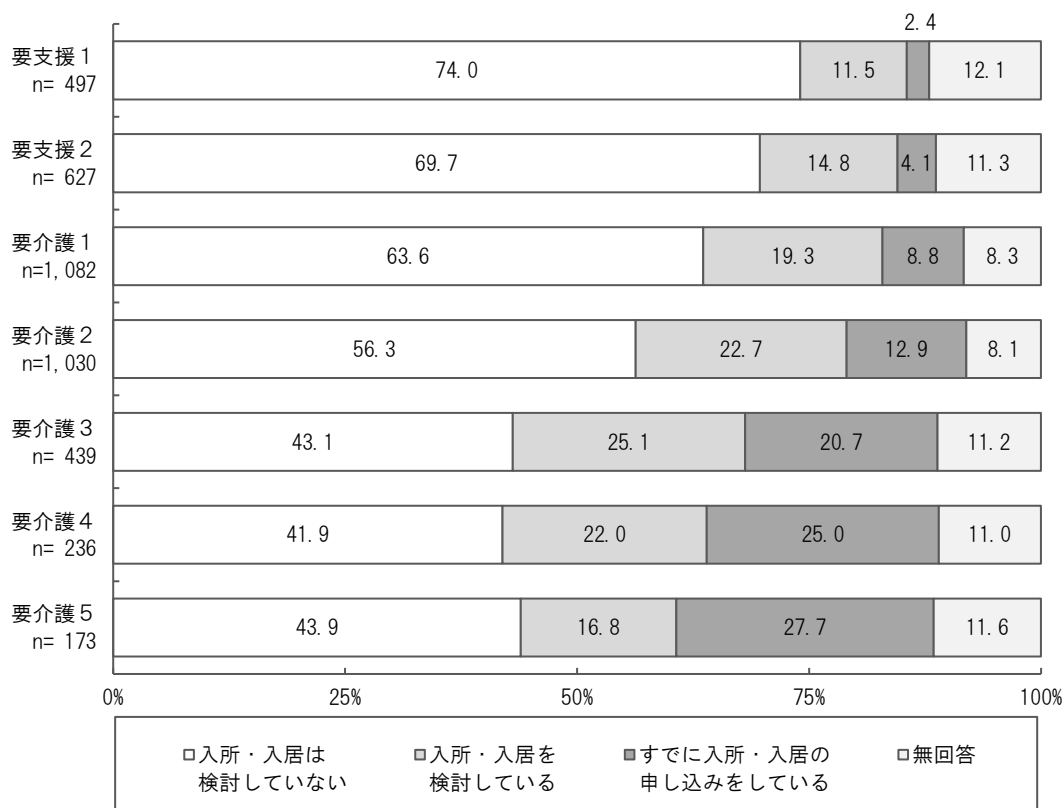
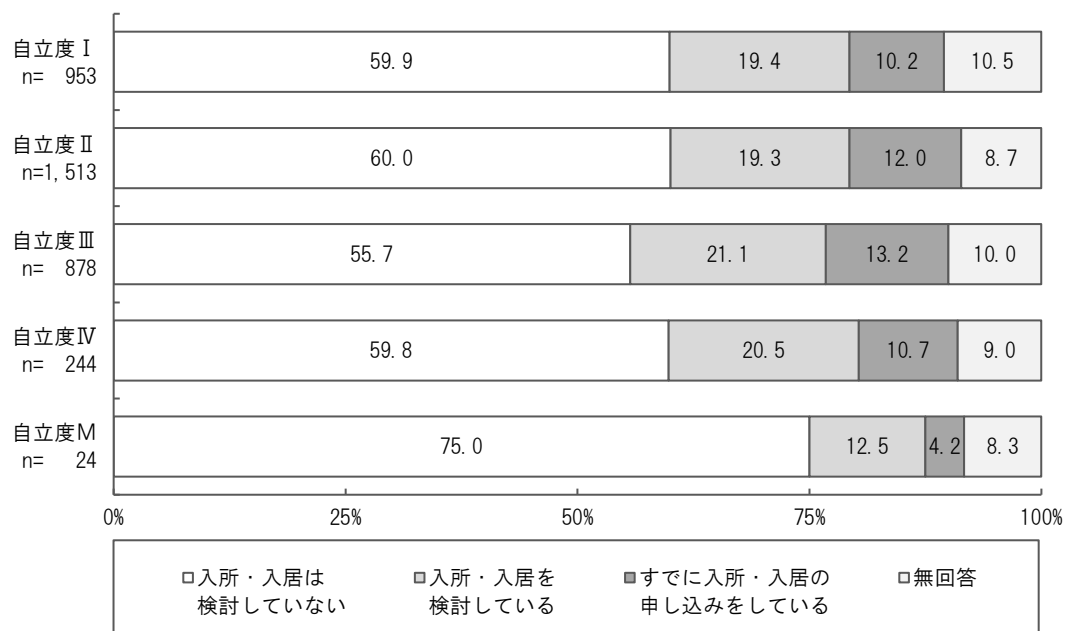


図 5.20 「要介護度」 × 「施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた施設等への入所・入居に関する検討状況は、自立度Ⅰ～Ⅳすべてにおいて、「入所・入居は検討していない」(55.7%~60.0%)が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(19.3%~21.1%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(10.2%~13.2%)となっています。

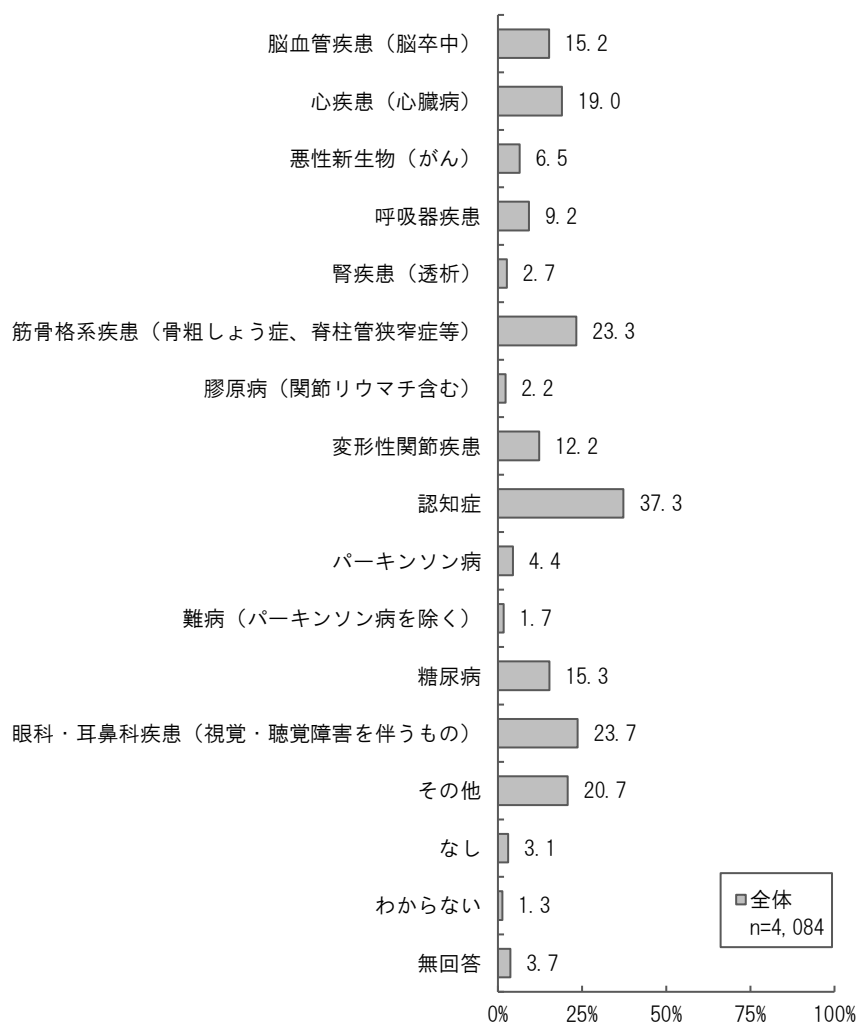
図 5.21 「認知症高齢者日常生活自立度」×「施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>」



（2）訪問診療の利用状況

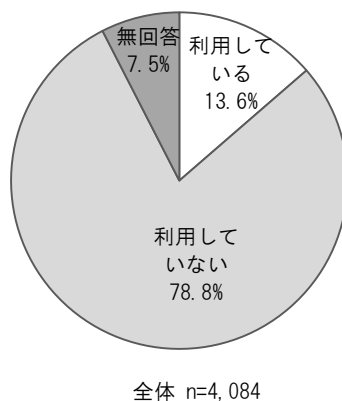
○要介護者が現在抱えている傷病名をみると、「認知症」（37.3%）が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（23.7%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（23.3%）となっています。

図 5.22 要介護者が現在抱えている傷病名<問 11>



○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」方は13.6%となっています。

図 5.23 訪問診療を利用しているか<問 12>



(3) 介護保険サービスの利用状況

○介護保険サービスの利用状況をみると、「利用している」は57.7%、「利用していない」は35.3%となっています。

○介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(39.1%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(20.1%)、「本人(要介護者)にサービス利用の希望がない」(18.9%)となっています。

図 5.24 介護保険サービスの利用状況<問 13>

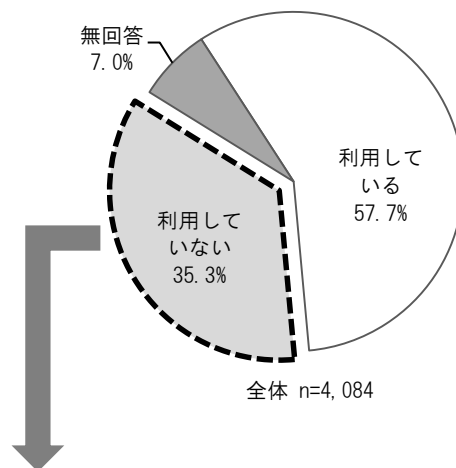
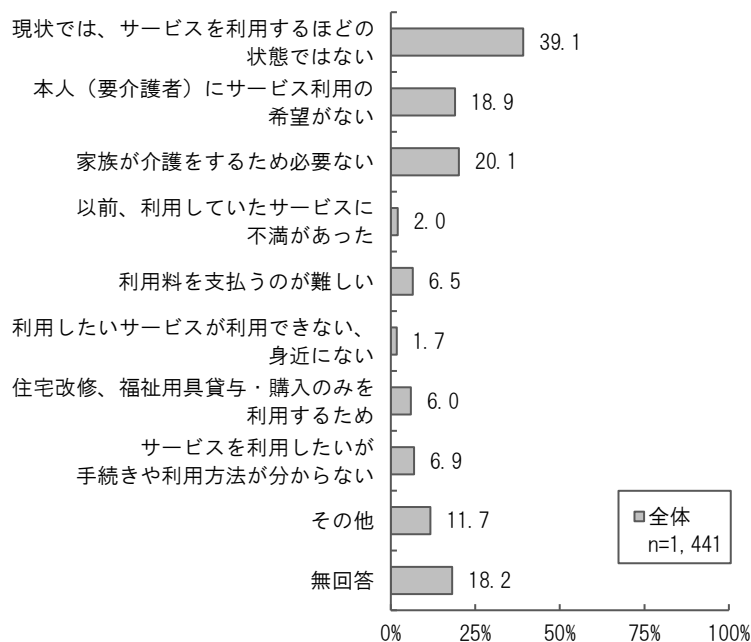


図 5.25 介護保険サービスを利用していない理由<問 13-1>

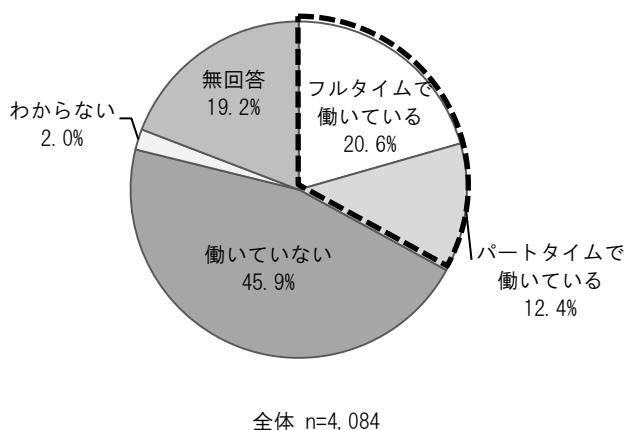


4 主な介護者の就労状況について

（1）主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」（20.6%）、「パートタイムで働いている」（12.4%）を合わせた33.0%の方が就労しています。

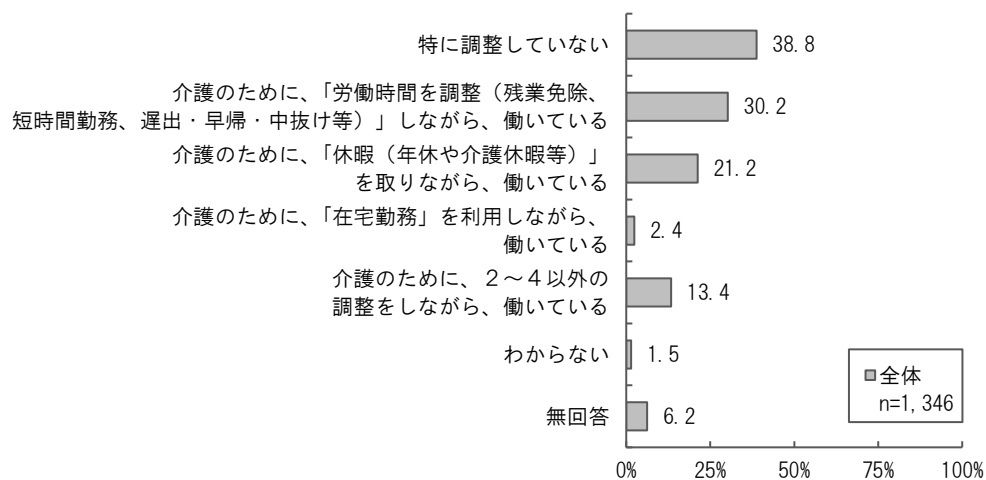
図 5.26 主な介護者の現在の勤務形態<問 14>



（2）就労実態と意向

○介護による働き方の調整をみると、「特に調整していない」（38.8%）が最も高く、次いで、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」（30.2%）、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」（21.2%）となっています。

図 5.27 働き方を調整しているか<問 14-1>



○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(25.7%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(23.9%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(20.9%)となっています。

○今後の介護と仕事の両立については、「問題なく、続けていける」(18.3%)と「問題はあるが、何とか続けていける」(55.0%)を合わせた今後も継続できる方は73.3%、一方、「続けていくのは、やや難しい」(10.0%)と「続けていくのは、かなり難しい」(7.5%)を合わせた継続が困難な方は17.5%となっています。

図 5.28 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援<問 14-2>

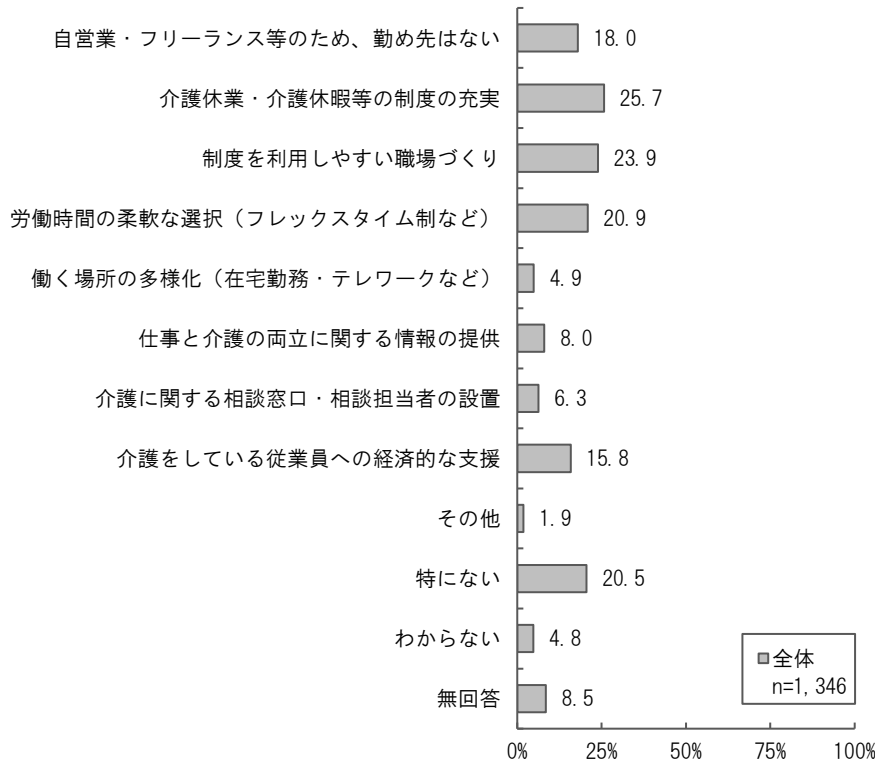
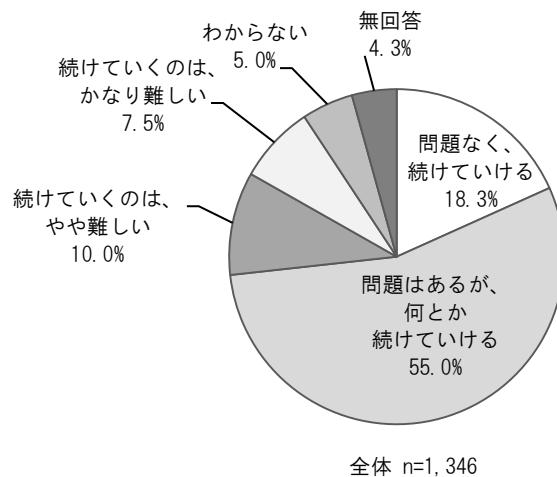


図 5.29 今後も働きながら介護を続けられるか<問 14-3>



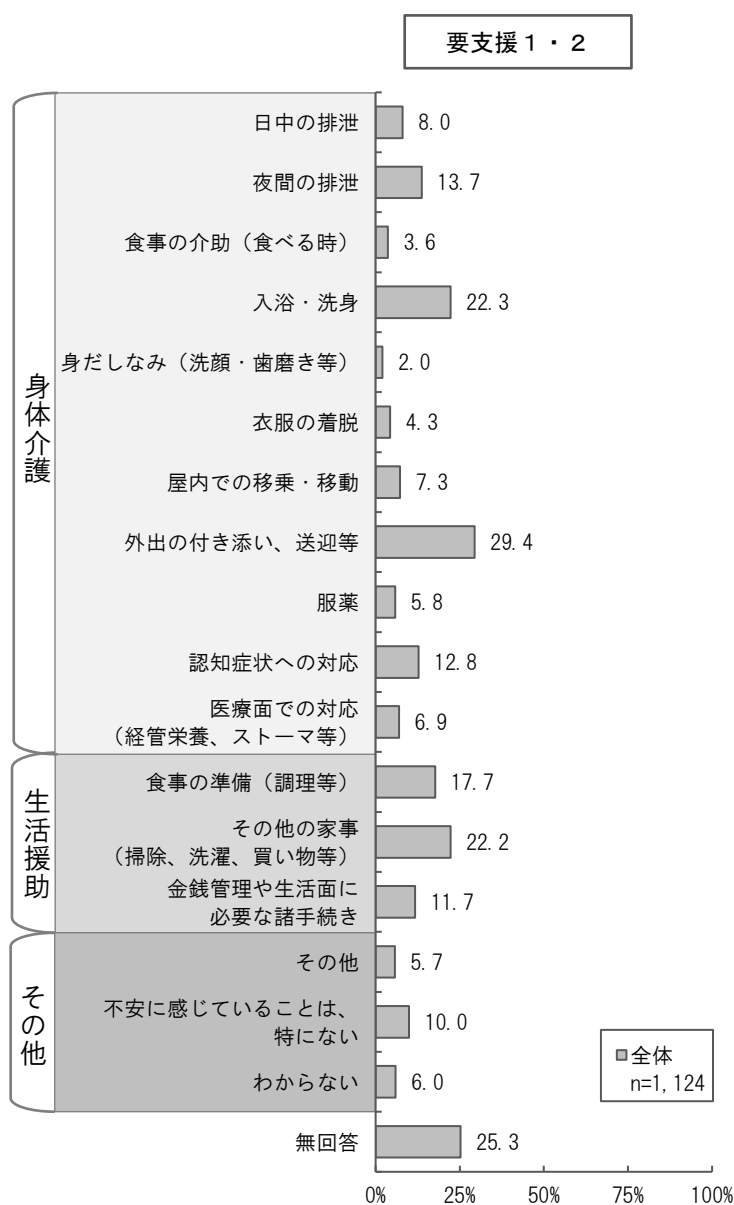
5 介護生活が続ける際の不安や困りごと

（1）主な介護者が不安に感じる介護等の内容

○主な介護者が不安に感じる介護内容をみると、要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」（29.4%）、「入浴・洗身」（22.3%）、「夜間の排泄」（13.7%）、「認知症状への対応」（12.8%）で割合が高くなっています。

○生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が22.2%、「食事の準備（調理等）」が17.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が11.7%となっています。

図 5.30 主な介護者が不安に感じる介護等＜問 15＞

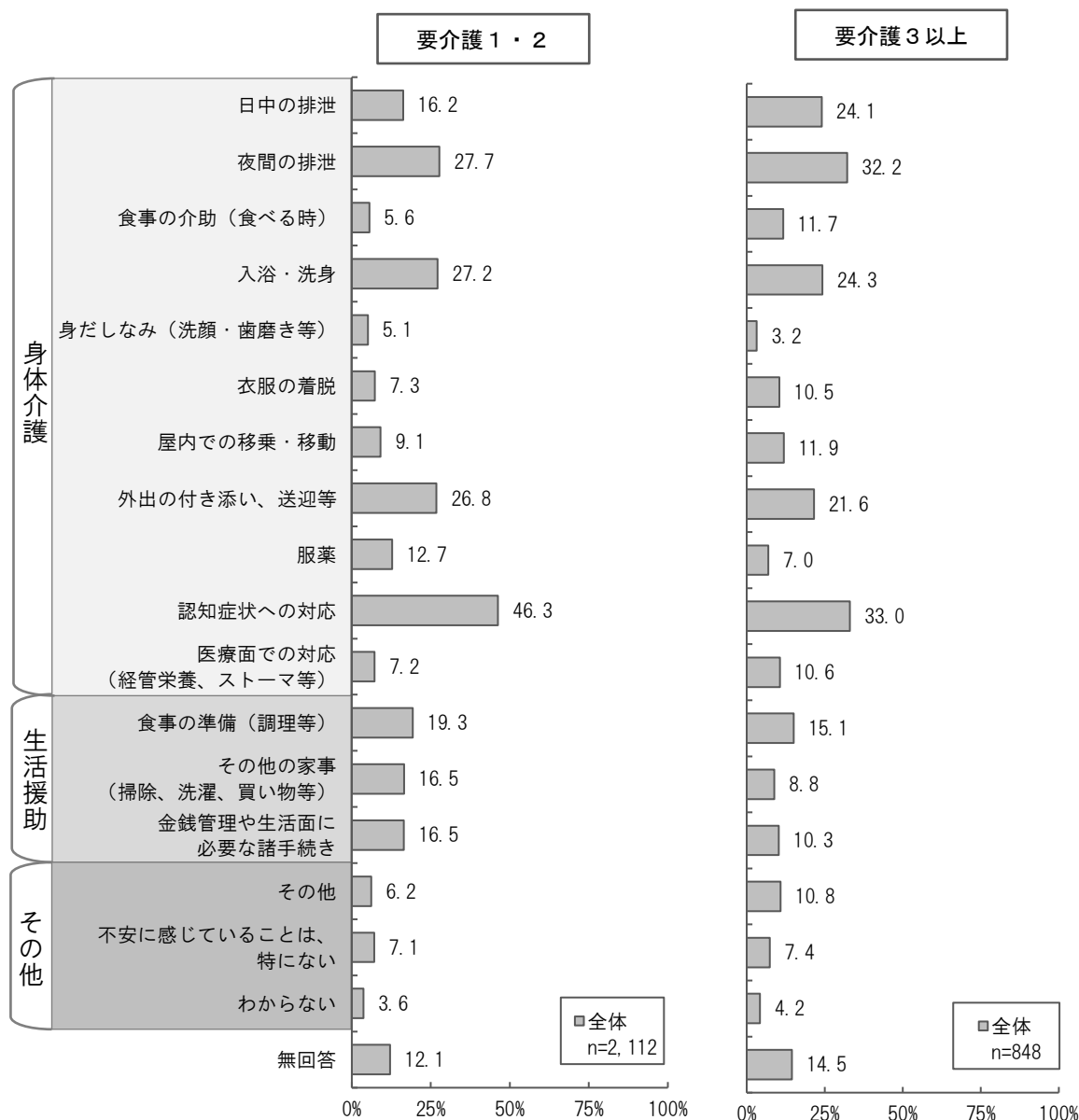


○要介護1・2の方の身体介護では、「認知症状への対応」(46.3%)、「夜間の排泄」(27.7%)、「入浴・洗身」(27.2%)で割合が高くなっています。

○生活援助では、「食事の準備(調理等)」が19.3%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各16.5%)となっています。

○要介護3以上の方の身体介護をみると、「認知症状への対応」(33.0%)、「夜間の排泄」(32.2%)、「入浴・洗身」(24.3%)で割合が高くなっています。

○生活援助では、「食事の準備(調理等)」が15.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が10.3%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が8.8%となっています。

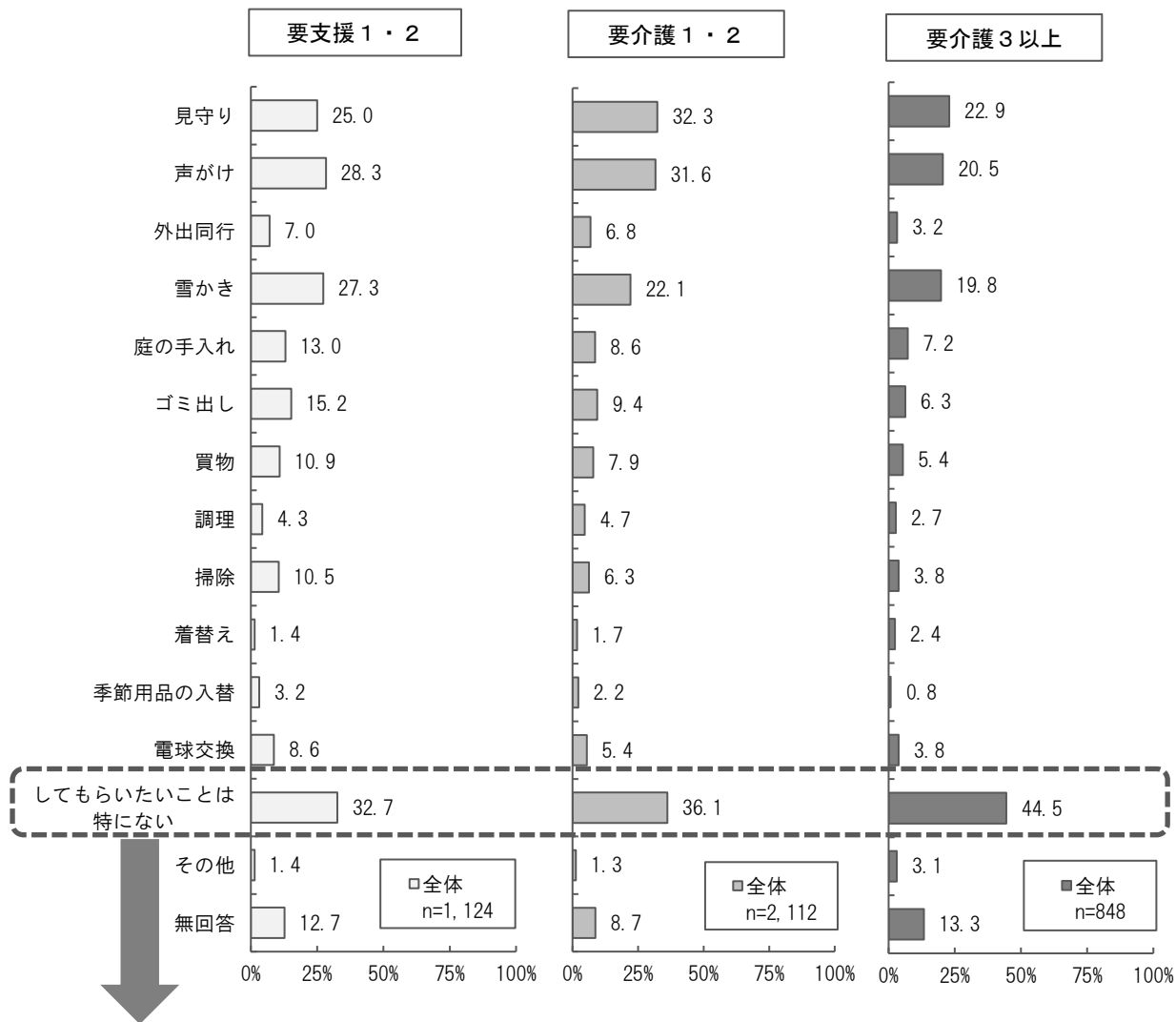


○生活の困りごとを近隣の人をお願いできるとしたら、要支援1・2は「声かけ」(28.3%)が最も高く、次いで「雪かき」(27.3%)、「見守り」(25.0%)となっています。

○要介護1・2と要介護3以上ではいずれも「見守り」(32.3%・22.9%)が最も高く、次いで「声かけ」(31.6%・20.5%)、「雪かき」(22.1%・19.8%)となっています。

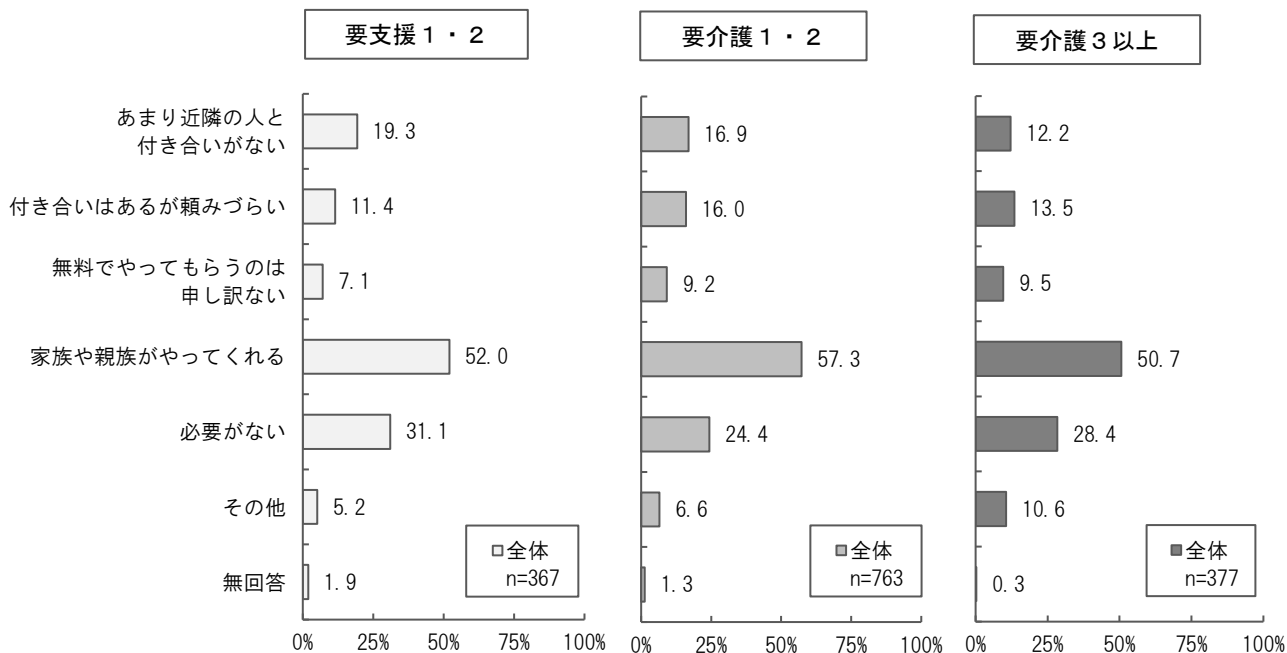
○一方、「してもらいたいことは特にない」と回答した方は、要支援1・2が32.7%、要介護1・2が36.1%、要介護3以上が44.5%となっています。

図 5.31 生活の困りごとを近隣の人をお願いできるとしたら<問 16>



○お願いしたいことが特にない理由をみると、要支援1・2、要介護1・2、要介護3以上いずれも、「家族や親族がやってくれる」(52.0%・57.3%・50.7%)が最も高く、次いで「必要がない」(31.1%・24.4%・28.4%)となっています。

図 5.32 お願いしたいことが特にない理由は何ですか<問 16-1>



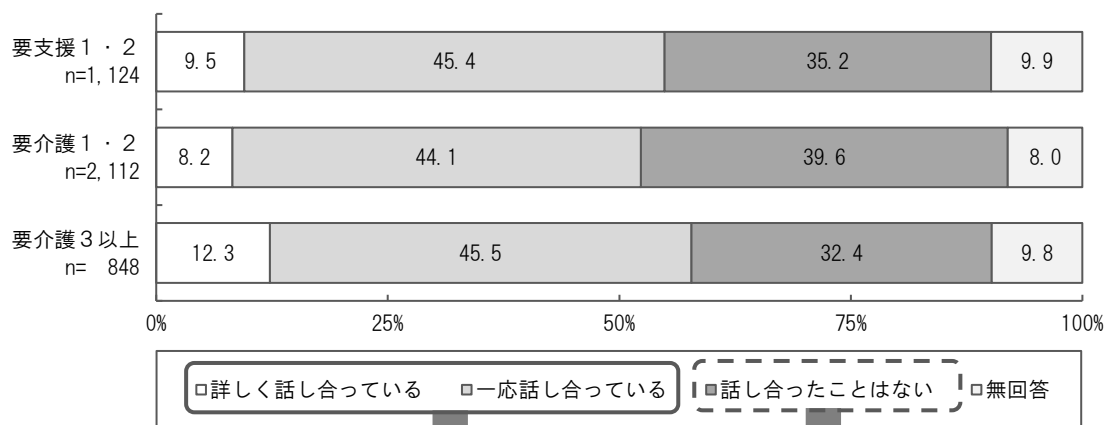
6 もしものときの話し合いについて

○もしものときの話し合いの有無をみると、「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の割合を合わせると、要支援1・2は54.9%、要介護1・2は52.3%、要介護3以上は57.8%となっています。

○話し合ったきっかけとしては、要支援1・2は「自分の病気」(49.4%)が最も高く、次いで「ご家族等の病気や死」(36.0%)、「医療や介護の関係者による説明や相談の機会を得た時」(27.9%)となっています。要介護1・2、要介護3以上はいずれも「医療や介護の関係者による説明や相談の機会を得た時」(38.6%・51.8%)が最も高く、次いで「ご家族等の病気や死」(37.6%・32.9%)、「自分の病気」(35.7%・26.5%)となっています。

○話し合っていない理由として、要支援1・2、要介護1・2、要介護3以上のいずれも「話し合うきっかけがなかったから」(51.3%・52.8%・50.5%)が最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」(28.5%・23.5%・20.7%)となっています。

図 5.33 問 17 もしものときの話し合いの有無<問 17>



問 17-2 へ

図 5.34 話し合ったきっかけ<問 17-1>

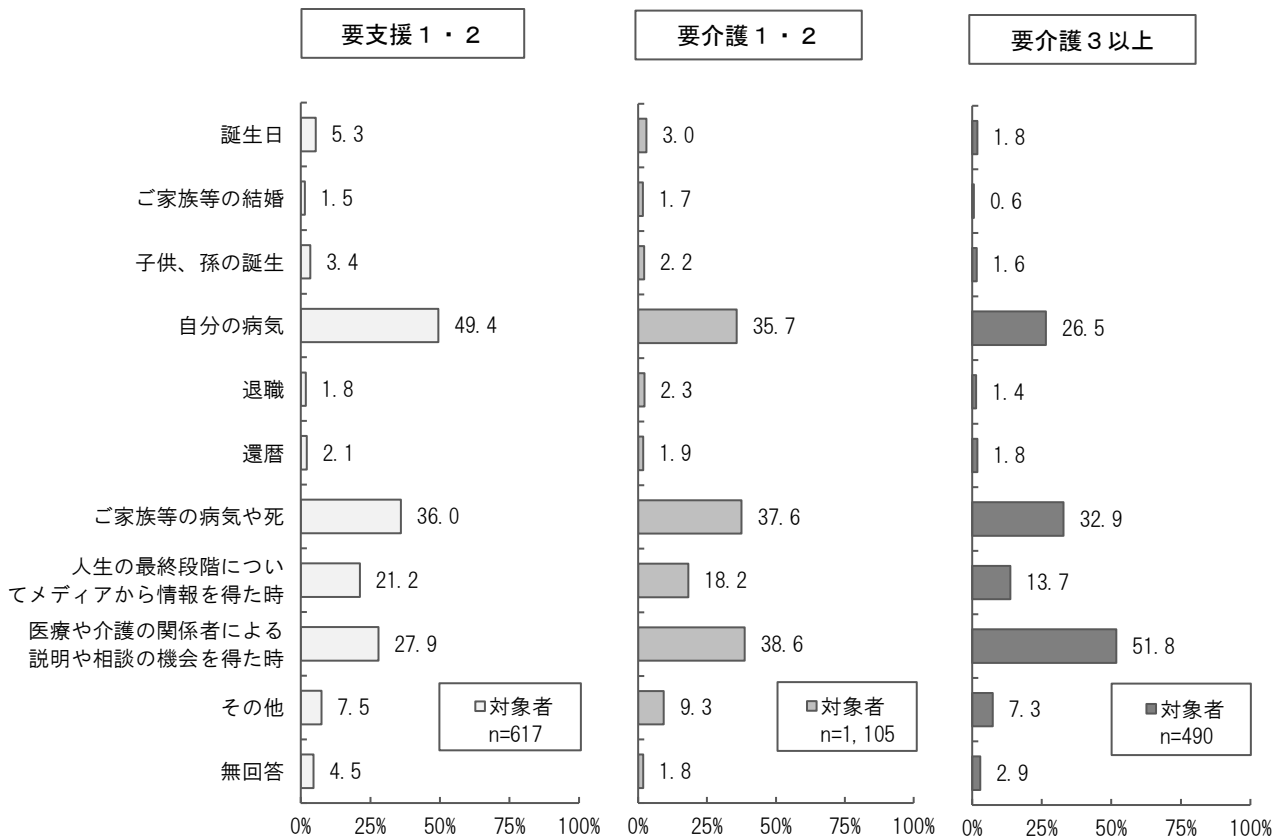
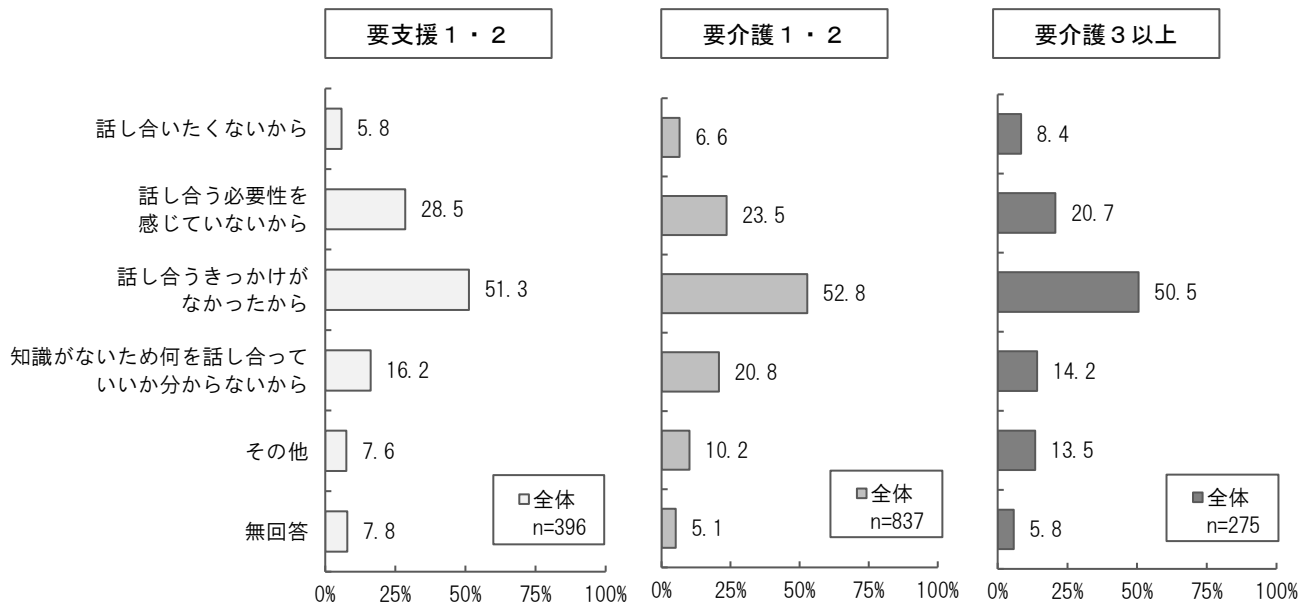


図 5.35 話し合っていない理由<問 17-2>



○希望する人生の最期については、要支援1・2、要介護1・2はいずれも「病院などの医療機関で『医療処置』を受けながら迎えたい」(20.7%・18.4%)が最も高く、次いで「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(18.5%・17.9%)となっており、要介護3以上は「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(17.5%)が最も高く、次いで「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら迎えたい」「病院などの医療機関で『医療処置』を受けながら迎えたい」(各15.4%)となっています。

図 5.36 希望する人生の最期<問 18>

